

# 発泡スチロール球で分子模型を作ろう

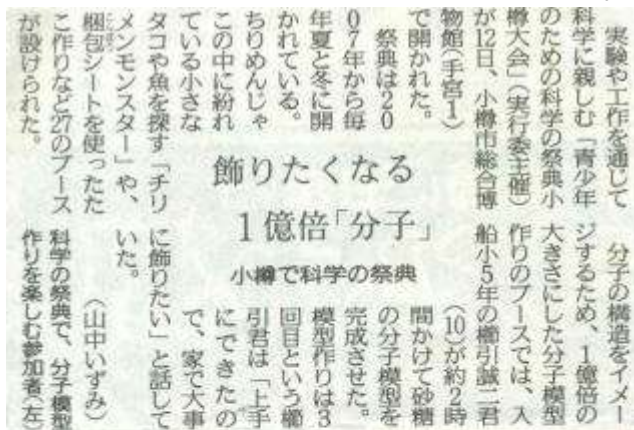
2013. 1. 28 小樽分子模型の会 斎藤一郎

[ichirokasetu@yahoo.co.jp](mailto:ichirokasetu@yahoo.co.jp) <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

1月12日に小樽市総合博物館で科学の祭典小樽大会が行われ、ボクは「発泡スチロール球で分子模型を作ろう」というテーマで分子模型作りのブースを出しました。科学の祭典の小樽の実行委員会からは、この1, 2年、声をかけてもらっていて、ずっと参加しています。

朝、10時半から午後3時までと時間は短く、4席しかなかったのですが、昼食を食べるのもやっとなで、最後までほとんど席が埋まった状態のまま、たくさんの人に作ってもらうことができました。

潮見台小の渡邊真紀子さんと、我が次女真理歌、三女亜理沙にも手伝ってもらい、なんとか作ってもらうことができました。



この日は初めて分子模型を作る人もいれば、小学校で仮説実験授業を受け、分子模型を何度か作ったことのある人もいました。

12月の分子模型の会にも参加した誠二さんが砂糖の分子模型に挑戦しているとき、北海道新聞の記者が取材しにきて、写真も撮っていきました。取材のことをすっかり忘れていたら、1月14日の北海道新聞の後志版に左のように掲載され、あちこちから「新聞見たよ」と声をかけていただきました。科学の祭典小樽大会はまた8月上旬に行われますので、ご参加ください。

